

キャラクター名  
ルード・ラクシュ

プレイヤー名

種族	ナイトメア	種族特徴	異貌、弱点[風、銀+2]		
生まれ	傭兵	性別	男	年齢	17歳
冒険者Lv	11	経歴	告白されたことがある(ルルプ1-54、経歴表B・3-1)		
経験点	4780		家族に異種族がいる(ルルプ1-54、経歴表A・2-4) 忘れられない恐怖を体験したことがある(ルルプ1-54、経歴表A・4-3)		

技	7	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
		器用度	11	11		29+2	5
体	15	敏捷度	6			13	2
		筋力	6	8		29+2	5
		生命力	3			18	3
心	8	知力	6	2		16	2
		精神力	5			13	2

技能	Lv.	技能	Lv.
ファイター	11		
レンジャー	6		
セージ	1		
エンハンサー	5		
アルケミスト	1		

戦闘特技			
タフネス	2122p		p
治癒適性	2122p		p
武器習熟A/アックス	1-281p		p
斬り返し	1-286p		p
頑強	1-279p		p
なぎ払い	1-288p		p
超頑強	2-228p		p
武器習熟S/アックス	1-281p		p
			p
			p
			p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
ドラゴン語	○	
汎用蛮族語	○	
魔動機文明語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	
キャッツアイ	
マッスルベアー	
ビートルスキン	
スケイルレギンス	
ジャイアントアーム	
クリティカルレイ	

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	11	16	13	16
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾	必要 ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	ドントレシアの堅忍鎧(3-229)	20	-	6
盾				
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能	ファイター	合計値	13	6

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A:過敏なハルバード[20/2]	振2H	20		2d+ 16	10	19	40										
振って攻撃するときのデータ																	
A:過敏なハルバード[20/2]	突2H	20		2d+ 16	9	19	35										
突いて攻撃するときのデータ																	
アビス強化1回目				2d+ 0		0											
アビス強化:C値-1/アビスカース:純エネルギーによる物理・魔法ダメージ+2																	
バランスペンデュラム[22/2]	荷物	22		2d+ 16	10	16	42										
《難ぎ払い》時に命中力判定+1																	
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 <sub>m</sub>	13 <sub>m</sub>	39 <sub>m</sub>	2d+ 13	6	96

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 3	2d+ 0	2d+ 14	2d+ 13	13

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

装備品	説明
頭	
耳	
顔	
首	熊の爪(2-264) 【マッスルベアー】の効果をも+1
背中	獣のセービングマント(ET-144) 回避や抵抗の失敗時に魔法ダメージ-4
右手	怪力の腕輪(1-339) 筋力+2、壊すと筋力+14
腰	グリーンベルト(3-252) 装備者を自然環境にあるものとする
足	
その他アルケミキット(3-114)	賦術が使用可

装備品	説明
左手	宗匠の腕輪(1-339) 器用度+2、壊すと器用度+14

その他メモ	自動失敗 チェック
冒険に出た理由:見分を広めるため(ルルプ1-55、冒険に出た理由表3-1)	
リルドラケン生まれのナイトメア、[異貌]を使用していないくても肥大化している角と右目周辺に広がっている痣がトレードマーク。	□□□□⑤
本名は“テオドール”だが人前で名乗ることはなく、周囲から“ビッグホーン”と呼ばれているがあまり気に入っていない。	□□□□⑩
理由は不明だが生まれてすぐ奈落の魔域に捨てられた彼は、偶然通りかかった人間の冒険者カップルに拾われたことで彼らの養子となった。	□□□□⑮
結果的に自分に新しい家族を与えてくれた“導きの星神”ハルーラには感謝しており、あまり熱心ではないものの信仰している。	□□□□⑳
幼少期は小さかったものの角が生えていることから、近所の子もたちからイジメられることも多かった。	□□□□㉑
だが義理の妹(夫婦となった冒険者カップルの実子)も一緒に虐められるので、彼女を守るため彼は過酷な修行に励むようになる。	□□□□㉒
その甲斐もあって12歳の頃には現在と同じ筋骨隆々とした体格となり、イジメっ子たちは彼への挨拶代わりに毎日土下座するようになった。	□□□□㉓
しかし同時に彼は自分が人間ではないと悟って激しい恐怖に陥り、やがて両親に事の真相を問うことになる。	□□□□㉔
	□□□□㉕

